

総合的な学習の時間

第2学年

神石高原町立三和中学校

指導者

藤井 大介  
湯谷 好史  
瀧本 憲史  
佐伯 啓樹

単  
元  
名

## 地域交流プロジェクトⅠ

### 【職場体験学習を通して神石を活性化させる方法を考えよう】

本単元で育成する資質・能力

「主体性」 「課題解決力」 「振り返り力」

1 日 時 令和元年10月31日(木)

2 学年・組 第2学年A・C組(男子18名, 女子9名, 計27名)

#### 3 単元観

本単元は、地域交流プロジェクトⅡ【他地域との比較から地域を見直す】につながる単元であり、職場体験学習を通して仕事の厳しさややりがい、社会の一員としてのマナーや心構えを考える。

また、地域で活動する事業所の人々と関わることで、地域活性化についても考えることをねらいとする。

さらに、今後ますます進展していくと考えられる国際社会にはあらゆる職業が関わっており、諸外国と無関係に日常生活を送ることは困難である。同一種の職業について、日本国内や神石高原町内の事業所(職業)と、外国との比較を通して、「地球規模で考えながら、自分の地域で活動する」思考を養う素地としたい。また、本単元の学習内容は、英語科3年時における、姉妹校提携を結んでいるオーストラリア・バンダバーグ・クリスチャンカレッジ(BCC)の生徒との「ウェブ会議による相互インタビュー活動」や、国語科の「プレゼンテーションの技術」の項目、及び社会科の「世界からみた日本の姿」や「日本の諸地域」等の項目とも関連付けて学習させたい。

#### 4 生徒観

本学年生徒は、令和元年5月に校内で実施したアンケート調査において、「あなたは神石高原町にいずれ戻ってきたいですか」という項目や、「現在または将来、あなたは神石高原町のために何か貢献したい(役に立ちたい)と思いますか」という項目において、82%の生徒が肯定的な回答をしている。

また、令和元年7月に実施した三和中学校生徒質問紙調査においては、「授業中、先生や友達の意見をよく聞いて、自分の考えを深めています」という項目や、「周りの人と協力して学習を進めています」という項目において、93%の生徒が肯定的回答をしている。

これらのことから、本学年の生徒は地域に対する意欲や関心が高く、協働学習を通して、自らの考えを深めようとしていることがわかる。

しかし、一方で、「学習の振り返りをするときには、『どこまで分かったか』、『学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由』を考えています」という項目においては、約7割の生徒しか肯定的回答をしていないことから、自分たちを客観的に評価する方法やその手順については、指導の工夫を行う必要があることが伺える。

#### 5 指導観

##### (1) 主体的・対話的で深い学びに向けた指導の工夫

- ・課題解決のためにどのような情報を集めたらよいかを考えさせ、解決に向けた見通しをもたせる。

- ・調べ学習の意義を理解させるとともに、職場体験学習を情報収集の場として設定し、積極的にコミュニケーションを図らせることにより、情報収集を促す。
- ・調査し考えまとめたことを、相互に発表、議論させ、比較などを行わせながら自分自身の考えを深めさせる。

## (2) 振り返り場面の指導の工夫

- ・「課題設定、情報収集、整理分析、まとめ・創造・表現」の4つのステップを意識させ、これらのサイクルを作りながら、各々の段階で、自分の姿がどのようなようであったかを基にして自己評価させる。
- ・振り返りの視点と振り返り例を明示することにより、全ての生徒に振り返り活動に取り組ませる。
- ・2学期末に次世代議会で提案することを伝えることで、学習の見通しを持たせる。

## (3) 生徒の実態に合わせた指導の工夫

- ・社会科で学習した世界情勢を基に、職業についての多角的なものの見方を育む。
- ・三和中ブランドの「地域のことを誇りを持って語れます」、「課題解決に向けて学び合いをすることができます」、「『感謝の気持ち』を『やる気』につなげることができます」の3つの項目を意識させ、学んだことを自己の生活に生かすことができるようにする。

## 6 単元で育てたい資質・能力及び本単元の目標と評価規準

○ 本単元で身につけさせたい資質・能力と評価基準

資質・能力	評価基準		
	I	C	E
主体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が将来就きたい職業について、様々な視点から調べようとしている。</li> <li>・神石高原町にある事業所に興味を持ち、自分の就きたい仕事と関連付けて調べようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々の職業や事業所について、異なる意見を持つ他者との意見交換等を通して、自らの考えを深めようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神石高原町にある事業所や自分が将来就きたい職業について情報を集め、国内外との比較をすることで自分や地域の今後について考えようとしている。</li> </ul>
課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験学習の目標を明確にし、積極的に必要な情報を収集することができる。</li> <li>・自分たちの地域の職業(事業所)をグループ分けすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神石高原町の事業所が担っている役割について、海外の同一事業と比較したり、グループ等での対話を通して、考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較や意見交流等を通して、新たな課題を発見したり、その課題に対する仮説を立てたりすることができる。</li> </ul>
振り返り力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所の持っている役割や、自分たちの日常生活と諸外国とのつながりなどについて、理解できていると実感している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科で学習した内容を基に、各事業所の持っている役割や、自分たちの日常生活と諸外国とのつながりなどについて、述べるということができるといことを実感している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の学習の前後で、地域についてそれまで持っていた知識が、どのように変化したのかを実感している。</li> <li>・本単元で学習した内容が、応用して日常生活・社会生活・自己の変容などにつなげることができると実感している。</li> </ul>

7 単元計画 (54 時間)

次	学習活動	生徒の思考の流れ	評価
			◇評価規準 (評価方法)
1   2	<p><b>課題の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の将来就きたい職業を、町内や国内、海外のものと比較し、今後の学習についての見通しを持つ。</li> <li>1年生時の「総合的な学習の時間」の内容を振り返り、神石高原町内にどのような事業所があるのか、また自分は将来どのような職業に就きたいと思っているのかを考え共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分は将来～として働きたいな。</li> <li>～として働くためにはどのような力が必要なのだろう。</li> <li>1年生の時に、神石高原町内の事業所を産業ごとのグループに分類する活動を行ったな。</li> <li>それぞれの産業の視点ごとに、この町を活性化させるためにはどのような手段があるのかを調べてまとめ、参観日で発表したな。</li> <li>1年生の時に学習した内容について、忘れていたことも多くあるので、復習をしておかないといけないな。</li> <li>どのような視点で自分の将来就きたい職業を見ていけば良いのかな。</li> </ul>	<p>神石高原町にある事業所に興味を持ち、自分の就きたい仕事と関連付けて調べようとしている。(行動観察・ワークシート)【主体性】</p>
3	<p><b>情報収集</b></p> <p>自分が将来就きたい職業や、職業を選ぶ上での価値観について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分は「やりがい」という項目を一番に考えたいな。</li> <li>「人との交流」をすることができて、「自分の能力を活かすことができる」仕事ができたらいいな。</li> <li>「安定した収入」も必要かな。</li> <li>まだ今の時点では「働く」ということがどのようなことなのか、正直よく分からないな。</li> <li>友達と比較をしてみることで、将来就きたい職業を選ぶときの基準には色々な考え方があったと感じた。</li> </ul>	<p>自身が将来就きたい職業について、様々な視点から調べようとしている。(行動観察・ワークシート)【主体性】</p>
4	<p><b>情報収集</b></p> <p>エゴグラムを用いて、自分自身の性格や考え方の特徴について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エゴグラム診断をしてみて、自分には「決まりをきちんと守ろうとする意識が強い」、「周りの人に配慮をすることができる」という特徴があることに気づくことができた。これを活かせるような職業にはどんなものがあるだろう。</li> <li>エゴグラム診断を通して、新しい自分の一面を発見することができた。</li> </ul>	<p>自身が将来就きたい職業について、様々な視点から調べようとしている。(行動観察・ワークシート)【主体性】</p>
5	<p><b>情報収集</b></p> <p>学年で「働く」ことについてのイメージマップを作成する。(職場体験前段階)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エゴグラム診断をしてみて、自分には「決まりをきちんと守ろうとする意識が強い」、「周りの人に配慮をすることができる」という特徴があることに気づくことができた。これを活かせるような職業にはどんなものがあるだろう。</li> </ul>	<p>各々の職業や事業所について、異なる意見を持つ他者との意見交換等を通して、自らの考えを深めようとしている。(行動観察・ワークシート)【主体性】</p>
6	<p><b>情報収集</b></p> <p>「働くために必要な力」について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5つの職業例(コンビニ店員、プロスポーツ選手、警察官、シェフ、医者)について、その仕事をしていくうえでの「必要な力」や「大切な想い」について考えることができたな。</li> <li>今日学習した職業以外にも、それぞれの職種で働いておられる方がどのような想いを持たれているのかを知りたいな。</li> </ul>	<p>職場体験学習の目標を明確にし、積極的に情報収集しようとしている。(行動観察・ワークシート)【課題解決力】</p>

7   9	<b>情報収集</b> 自分が将来就きたい職業についての調べ学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獣医師の業務内容や、その職に就くために必要な資格について調べることができた。</li> <li>・自分が将来就きたい職業は町内に有るのかな。</li> <li>・もしも有る場合には、その現状や課題はどうなっているのかな。</li> <li>・もしも無い場合には、その理由は何だろう。</li> <li>・国内の他の地域ではどうなのかな。</li> <li>・オーストラリア等にはこんな職業はあるのかな（違いは何だろう）。</li> <li>・英語の授業のウェブ会議等を活用し、姉妹校提携を結んでいるオーストラリアの中学生にインタビューすることはできないかな。</li> </ul>	自身が将来就きたい職業について、様々な視点から調べようとしている。（行動観察・ワークシート）【主体性】  職場体験学習の目標を明確にし、積極的に情報収集しようとしている。（行動観察・ワークシート）【課題解決力】
10   12	<b>情報収集</b> 自分が将来就きたい職業について、海外の同一種の職業を調べ、日本のものと比較をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は将来公立中学校の教員になりたいと思っていたけど、日本の公立中学校教員と、アメリカやオーストラリアの公立中学校教員とでは、一日のスケジュールが全然違うんだな。</li> <li>・国や地域によって、その職業のあり方というものは大きく異なるのだな。</li> <li>・自分は将来医者になりたいと考えているけれど、海外でも日本国内でも、地域ごとによる、「医師不足による治療機会の格差」という問題は共通しているのだな。</li> </ul>	各事業所の持っている役割や、自分たちの日常生活と諸外国とのつながりなどについて、理解できていると実感している。（行動観察・ワークシート）【振り返り力】
13	<b>整理分析</b> 調べ学習を通して得た日本国内の職業と、外国の職業との比較データを学年内で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の発表について、〇〇という気づきがあったな。</li> <li>・友達の発表を聞いて、△△という疑問が生まれたので、それを発表者に伝えてあげよう。</li> <li>・△△という新しい疑問を友達から得ることができた。夏休み中の職場体験を活用したり、BCCとのウェブ会議を通したりして、この疑問を解決していきたいな。</li> <li>・1年生の時に神石高原町に必要な仕事について町長に提案したけど、これらについて国内の他の地域やオーストラリアと神石高原町の違いってどこにあるんだろう。</li> <li>・他の地域や国のやっていることで取り入れられることはないかな。</li> <li>・実際に働いている人たちはどう思っているのだろう。</li> <li>・町内にある事業所にも目を向けてみたいな。</li> </ul>	各事業所の持っている役割や、自分たちの日常生活と諸外国とのつながりなどについて、理解できていると実感している。（行動観察・ワークシート）【振り返り力】
14   17	<b>課題設定・情報収集</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（1年時の学習を振り返り）神石高原町内にある事業所を項目ごとに分類する。</li> <li>・それぞれの事業所の仕事内容等についての調べ学習を行う。</li> <li>・「なぜその事業所が神石高原町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こばたけ保育所」や「どんぐり幼稚園」は「子供の教育」というカテゴリ化ができそうだな。</li> <li>・「神石高原町立病院」や「快生薬局」は「医療」グループに入りそうだな。</li> <li>・どうしてこの町内に複数の保育所や幼稚園があるのだろう。</li> </ul>	自分たちの地域の職業（事業所）をグループ分けすることができる。（行動観察・ワークシート）【課題解決力】  神石高原町にある事業所に

	内にあるのか（必要性）」について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>中学校の数は減っているのに、保育所や幼稚園の数は減っていないのはどうしてだろう。</b></li> <li>・ ○○という事業所と神石高原町にはどのようなつながりがあるのだろう。</li> </ul>	興味を持ち、自分の就きたい仕事と関連付けて調べようとしている。（行動観察・ワークシート）【主体性】
18	<b>整理分析</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれのグループが立てた「なぜその事業所が神石高原町内にあるのか（必要性）」に対する仮説を交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町が発行した「～神石高原の子育てガイド～2017年度版」によると、神石高原町には「神石高原子ども医療費助成制度」というものがある。このように、町は「子供を育てる」ことに重きを置いているから、この町内に複数の保育所や幼稚園があるのではないかな。</li> <li>・ 町が「子供を育てる」ことに重きを置いていることは理解できました。では、町内の保育士さんたちは、町の施策や意向を受けて、どのような思いや気持ちを持って働いているのでしょうか。</li> <li>・ その疑問には今すぐに答えることができないな。</li> </ul>	<p>神石高原町の事業所が担っている役割について、海外の同一事業と比較したり、グループ等での対話を通したりして、考えることができる。（行動観察・ワークシート）【課題解決力】</p> <p>各々の職業や事業所について、異なる意見を持つ他者との意見交換等を通して、自らの考えを深めようとしている。（行動観察・ワークシート）【主体性】</p>
19   23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場体験先の決定</li> <li>・ 事業所への依頼の電話練習</li> <li>・ マナー講座受講</li> <li>・ 事業所への事前依頼電話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私は××事業所で職場体験をさせてもらって、前時に得た疑問の解決につなげたいな。</li> <li>・ 事業所の方と話をするのは緊張しそうだ。事前にしっかりと練習しておかないといけないな。</li> <li>・ 当たり前のマナーをしっかり守っていくことは、仕事をするうえで絶対に必要なことなんだ。今日のマナー講座で学んだことを職場体験でも活かしていきたいな。</li> <li>・ <b>夏休み中の事前訪問日の日程を決めるために、電話での応答の練習をしなくてはいけないな。</b></li> <li>・ 事業所の担当所の方と話をし、夏休み中の事前訪問の日程を決定させることができた。</li> </ul>	職場体験学習の目標を明確にし、積極的に情報収集しようとしている。（行動観察・ワークシート）【課題解決力】
24   49	<b>情報収集</b> 職場体験学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場体験学習を通して、仕事の大変さや働く上での大切な想いについて考えることができた。</li> <li>・ △△という疑問点を解決するためのヒントを見つけることができた。</li> <li>・ 町内の事業所のことを知ることができた。同じような職種の、外国での働き方はどうなっているんだろう。</li> </ul>	職場体験学習の目標を明確にし、積極的に情報収集しようとしている。（行動観察・ワークシート）【課題解決力】
50   53	<b>整理分析</b> <b>まとめ・創造・表現</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次世代議会での発表に向けたテーマの決定</li> <li>・ 職場体験レポートの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場体験を通して得た経験や疑問点に対する答えをレポートにまとめよう。</li> <li>・ 比較を通して得ることのできた疑問が完全に解消されたわけではないので、BCCの生徒に直接聞いてみたいな。</li> <li>・ どんなテーマで発表を行おうかな。</li> <li>・ この町の強みや弱みはいったいなんだろう。</li> <li>・ <b>事業所の方から伺ったこの町の強みや弱みを更に強化したり、減少させたりするような方法には、どのようなものがあるのだろう。</b></li> </ul>	各教科で学習した内容を基に、各事業所の持っている役割や、自分たちの日常生活と諸外国とのつながりなどについて、述べることを実感している。（行動観察・ワークシート）【振り返り力】

54   57	<p><b>振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験学習を通して、自分たちには町の活性化のためにはどのようなことができそうかを考える。</li> <li>・12月には神石高原町次世代会議で、町を活性化するための方策を発表することを知る。</li> <li>・次世代議会での発表に向けての資料作成をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちにできることは何だろうか。</li> <li>・今回調べてまとめたことを、オーストラリアの生徒にも伝えてあげたいな。</li> <li>・町の次世代議会で発表をして、神石高原町を活性化させたいな。</li> </ul>	<p>町の活性化に向けて、比較等を通して得た情報を有効に活用しながら、自分たちに何ができるかということを実感している。(行動観察・ワークシート)【振り返り力】</p> <p>比較や意見交流等を通して、新たな課題を発見したり、その課題を解決するための仮説を立てたりすることができる。【課題解決力】</p>
---------------	---	---	---

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

整理・分析した情報を、図や表にまとめて分類することで、神石高原町の課題解決に向けた具体的な方策を考え、次世代議会での提案につなげることができる。

### (2) 準備物

ワークシート

### (3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項	資質・能力 (評価方法)								
○本時の目標と学習の流れを確認する。	◇本時の学習の流れを黒板に示し、具体的な解決策を考え出すことを知らせる。									
<p>本時の目標：整理・分析した情報を、図や表にまとめて分類することで、神石高原町の課題解決に向けた具体的な方策を考え、次世代議会での提案につなげることができる。</p>										
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">1. 本時の流れの確認</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 10px;">5分</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">2. グループ内議論</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 10px;">25分</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">3. 発表・意見交流 (全体)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 10px;">15分</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">4. まとめ・振り返り</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 10px;">5分</td> </tr> </table>	1. 本時の流れの確認	5分	2. グループ内議論	25分	3. 発表・意見交流 (全体)	15分	4. まとめ・振り返り	5分	◇黒板に掲示する。	
1. 本時の流れの確認	5分									
2. グループ内議論	25分									
3. 発表・意見交流 (全体)	15分									
4. まとめ・振り返り	5分									
○それぞれのグループごとに、考えるべき課題を確認する。										

- ①住みやすい町づくりを目指し、高齢者が生きがいを持って、神石高原町で安心して生活できるためにはどうしたらよいか。
- ②活気ある神石高原町を目指し、多くの人に神石高原町を知ってもらい、みんなが神石高原町に訪れるようになるためにはどうしたらよいか。
- ③少子高齢化の中で持続可能な町づくりを目指し、若者や子育て世代が安心して働き、生活できる神石高原町にするためにはどうしたらよいか。
- ④神石高原町の環境や豊かな自然を守ることを目指し、神石高原町の自然や景観を生かした町づくりを進めるにはどうしたらよいか。
- ⑤神石高原町の認知度を高め、工業をブランド化することを目指し、神石高原町の製品をどのように売り出し、アピールしていけばよいか。

○グループ内で議論を行う。

◇4つの観点ごとに、各欄に記入する具体策を話し合う。  
◆それぞれのグループ内で全ての生徒が意見を述べるができるよう、助言等を行う。

比較や意見交流等を通して、新たな課題を発見したり、その課題を解決するための仮説を立てたりすることができる。【課題解決力】

【生徒記入例】

外

D (外部から見たときの町の弱み)

①少子高齢化，人口減少が進んでいる。

②町の認知度が低く，発信力が弱い。

③町を活性化するための取組について，外部との連携が限定的であったり，連携による影響力が弱かったりする。

C (外部から見たときの町の強み)

① UターンやIターンが多い。田舎暮らしブームの影響。

②182号線で中国道，山陽道に接続している。

③人柄が温かく，「挑戦」を後押ししてくれる。

弱

B (職場体験を通して発見した町の弱み)

①労働人口の高齢化が進んでいる。

②作物や製品などを大量生産することが難しい。

③特産物や製品などが外部の地域の方に知られていない。

A (職場体験を通して発見した町の強み)

①地元密着型の職場が多い。

②仕事に誇りを持ちながら働かれている。

③地元の食材や原材料などを活用している。

強

内

<p>○「話し合いの評価基準」を提示する。</p> <table border="1" data-bbox="172 271 632 712"> <thead> <tr> <th>レベル</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>全員が納得できる解決策をまとめている。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>全員の発言・意見を検討して解決策をまとめている。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>すべての人が発言している。</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>発言が一部に偏っている</td> </tr> </tbody> </table> <p>○各班の具体案を全体に向けて発表する。 ・質疑応答を行う。</p> <p>【予想される生徒のやり取り】</p>	レベル	状態	4	全員が納得できる解決策をまとめている。	3	全員の発言・意見を検討して解決策をまとめている。	2	すべての人が発言している。	1	発言が一部に偏っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「A」で「C」を強化する。</li> <li>・「A」を活かして「D」を回避する</li> <li>・「B」を改善して「C」を逃さない</li> <li>・「B」を改善して「D」を回避する</li> </ul> <p>※どの観点から話し合いを進めてもいいが、あらゆる可能性を出し合う。 ※司会・記録・発表者を決めてから話し合いを始めさせる。 ※「予算」や「条件」などを考慮して実現可能か否かを十分に吟味するよう指導する。 ※案の目的や実行方法などを具体的に発表できるように指導する。</p> <p>◇各班の代表者に発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く側はメモを取る。</li> </ul>	
レベル	状態											
4	全員が納得できる解決策をまとめている。											
3	全員の発言・意見を検討して解決策をまとめている。											
2	すべての人が発言している。											
1	発言が一部に偏っている											
<p>私たちの班では、B（職場体験学習を通してみた町の弱み）として、「特産物や製品などが、外部の地域の方に知られていない」ということを挙げました。</p> <p>また、C（外部から見たときの町の強み）として「住人の温かさ」や「182号線で中国道や山陽道に接続している」ことが挙げられます。このBを改善してCを逃さないようにするために、私たちは「UターンやIターンでこの町に来られた人や外部から来られた人に対し、この町の仕事を紹介するような場を設定したらいいのではないかと考えました。</p> <p>発表ありがとうございます。町の広報誌などに、既にそのような特集が組まれていて、三和協働支援センターで配布されているのではないですか。</p> <p>それは知りませんでした。既にそのようなものがあるのですね。しかし私たちの計画とは、町の広報誌に載せてアピールするだけではありません。ゆっくりや神石高原ホテルには県内をはじめ、県外からも多くの観光客が訪れていることも職場体験学習で事業所の従業員さんへの質問からわかりました。そこで、両事業所のおみやげ売り場で神石高原町の特産物のキャンペーンを行えば良いのではないかと思います。そこに、町内にある事業所の食品や製品などを展示、説明、販売したり、健康に関するイベントのようなものを行ったりすれば、この町の仕事の特徴や魅力を色々な人にアピールできるのではないかと考えます。</p>												



<p>○本時の振り返り，次時の確認</p> <p><b>【振り返りの視点】</b></p> <p>① 掲示された「話し合いの基準」のどのレベルまで達成できたか。</p> <p>② グループ内や全体での意見交流を通して、「町を活性化させるための方策」について、町議会でどのような提案ができそうか。</p> <p>③ グループで話をしてみて新しく気づいたこと。</p> <p><b>【生徒の振り返り例】</b></p>	<p>◇本時の振り返りをワークシートに記入する。</p> <p>◆振り返りの視点を明示する。</p>	
<p>① <u>掲示された「話し合いの基準」のどのレベルまで達成できましたか。○をつけましょう。</u></p> <p>4    3    2    1</p> <p>② <u>グループ内や全体での意見交流を通して、「町を活性化させるための方策」について、町次世代議会でどのような提案ができそうですか。</u></p> <p>私は三和林業株式会社で職場体験をさせてもらった。「この町の自然や景観を生かした町づくりをしていくためにはどうしたら良いか」ということについて、最初は、「町内の木材を加工した木彫りの製品などを通信販売すればいい」と考えていた。しかし、話し合いの中で、「それではそれを買った人にしかこの町の自然などの魅力が伝わらない」という意見をもらった。このような意見を踏まえて、「この町を訪れた多くの人に、実際に製品を見てもらったり、手に取ってもらったりできるような場を設けるのが良いと新しい考えを持つことができた。これを町次世代議会で提案したい。</p>		

## 9 板書計画

### 目標

整理・分析した情報を，図や表にまとめて分類することで，神石高原町の課題解決に向けた具体的な方策を考え，次世代議会での提案につなげることができる。

本時の流れ

- ① グループ内議論
- ② 意見交流（全体）
- ③ まとめ・振り返り

1 班  
具体案

2 班  
具体案

3 班  
具体案

4 班  
具体案

5 班  
具体案

6 班  
具体案